

取組2：裏小路の新しい照明灯具を決定！

現在、裏小路では電柱に共架される形で防犯灯が取り付けられています。

裏小路みちづくり整備方針内で掲げられている「道路の美化化」の取組として、裏小路のまちなみにふさわしい照明灯具への付け替えを行います。

周辺の街路灯のデザインや色合いを考慮しながら、協議会の中で検討を行い、裏小路のまちなみに調和するデザインとして、和風を基調とした下記の灯具にて整備することになりました。今後、照明灯具の防犯性や沿道住宅への漏れ光に配慮しつつ、整備を進めてまいります。



第23回協議会の様子

現在の照明灯具の様子



今後こちらの
灯具への
付け替えを
進めます！

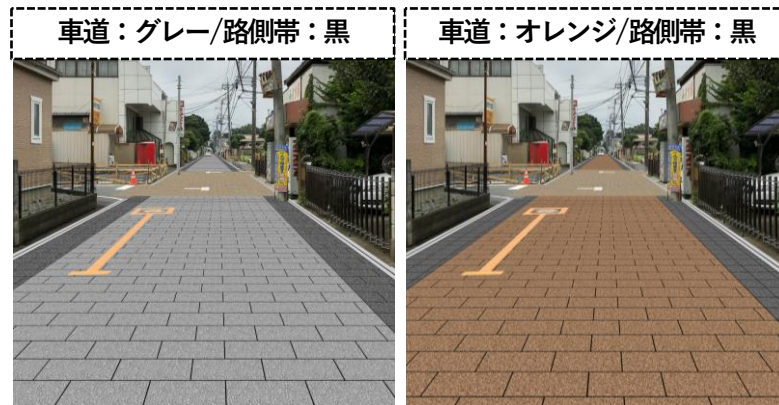
取組3：道路舗装について検討を開始！

裏小路みちづくり整備方針内で掲げられている「道路の美化化」の取組として、道路舗装について色彩等の検討を進めています。

検討のポイント

- まちなみに調和する和風を基調としたデザイン
- 落ち着いた色合いやシンプルなデザイン（石畳調の舗装等）
- 段差やがたつきが無い、誰もが歩きやすい舗装

■フォトモンタージュ手法を用いた道路色彩の検討例



今後のスケジュールについて

次回活動予定

第24回協議会（令和3年夏頃 開催予定）

まちなみづくりに関心のある方へ

・事前の申込みは不要（自由参加）です。傍聴される方は当日、お気軽に会場までお越しください！

さいたま市ホームページに協議会の開催情報や協議会への入会申込書を掲載しています！

さいたま市のトップページ（<http://www.city.saitama.jp/index.html>）から

裏小路



協議会会員数 22名

会員は即時募集しております！
皆様のご入会をお待ちしております！

裏小路まちなみづくり ニュース

発行：裏小路まちなみづくり協議会

第21号

問合せ先：さいたま市 都市局 まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所
TEL：048-790-0234 FAX：048-790-0240

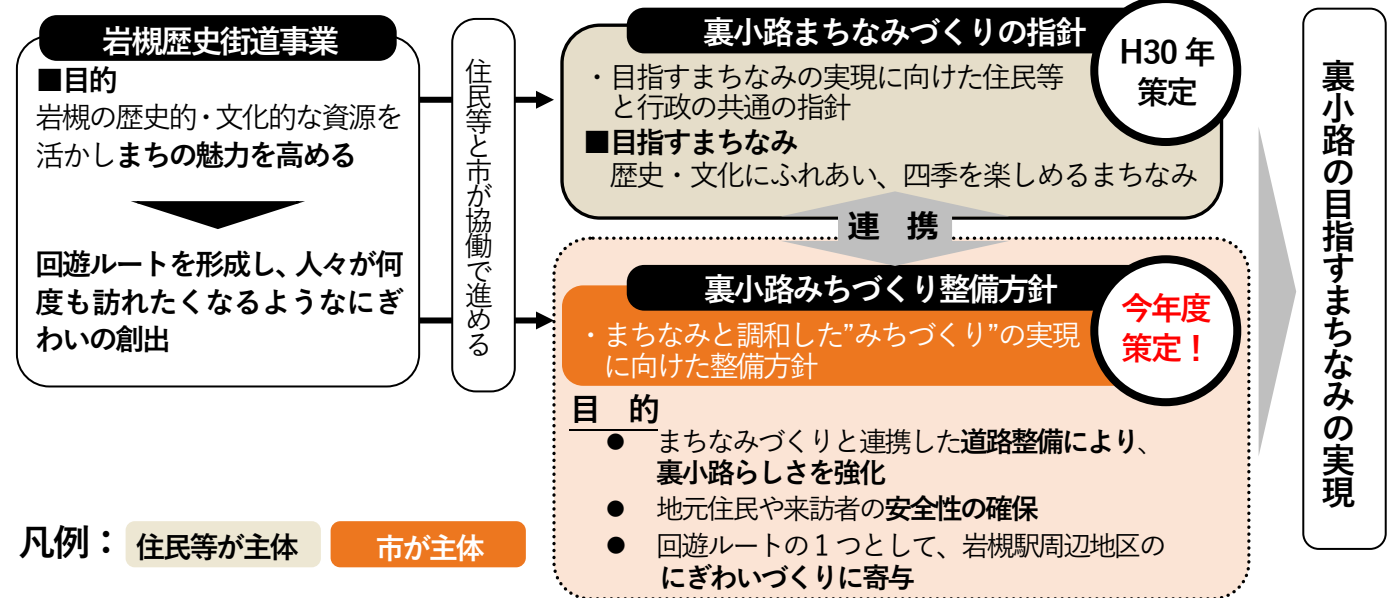
発行月：令和3年3月

“裏小路みちづくり整備方針”を策定しました！

市と協議会では、平成30年度より、裏小路のまちなみと調和するみちづくりの実現に向けて、「裏小路まちなみづくりの指針」の内容や住民説明会、アンケートよりいただいた住民の皆様の声、交通量調査等の結果等を基に、裏小路のみちづくりでの整備内容について検討してきました。

これらの検討を踏まえ令和2年10月に「裏小路みちづくり整備方針」を策定しました。

■裏小路のみちづくりの検討経緯



○ 裏小路みちづくり整備方針に対する意見

裏小路みちづくり整備方針を策定するにあたり、地域の皆様より意見をいただきました。ご意見については、裏小路みちづくり整備方針を検討・策定する際に参考にさせていただきます。



今後、「裏小路みちづくり整備方針」や「裏小路まちなみづくりの指針」に基づき、裏小路周辺がより良い空間になるような「みちづくり」を進めていきます。

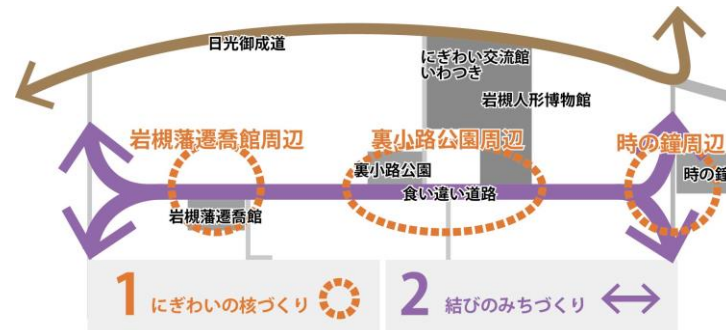
今後のみちづくりの進め方について

裏小路のみちづくりについては、「裏小路みちづくり整備方針」や「裏小路まちなみづくり指針」に基づき、このような流れで進めていきます。

○みちづくり整備方針の取組の実施

- 道路の舗装や照明、電柱の美化、交通安全対策等の整備内容を確定させます。
- 整備の見通しが立ったものから測量・設計に着手します。
- 生活交通への影響を最小限にするため、区間を分けて段階的に整備します。

■裏小路のみちづくりの進め方



○にぎわいづくりの取組の推進

- 岩槻藩遷喬館、時の鐘、裏小路公園周辺（裏小路公園・岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき・食い違い道路）におけるにぎわいの核づくりの検討を踏まえ、にぎわいづくりの取組を推進します。

整備方針
策定！

■みちづくりの取組スケジュール

項目	～2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (H31) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度～
みちづくり	みちづくり 検討	みちづくり 整備方針検討 → 測量 → 設計 → 道路工事			
にぎわいづくり			にぎわい核 づくりの検討		にぎわいづくりの取組
まちなみづくり	指針策定	指針運用			
岩槻人形博物館 にぎわい交流館岩槻			閉館		新たな人・車の流れ

結びのみちづくり

整備イメージ例

道路の美化

- 道路舗装を石畳調の舗装に変更
- 側溝を更新し美化を図る
- 照明灯具を、和風を基調としたものに変更
- 電柱の美化を図る

交通安全対策

- 車両スピードの抑制を図る（イメージランプ・狭さく等の整備等）
- 舗装パターン等による視覚的な歩行空間の分離を図る

にぎわいの核づくり

整備イメージ例

岩槻藩遷喬館周辺

- 遷喬館の看板の更新
- 市有地等を活用した、交流空間の形成

裏小路公園周辺

- 新たな歴史（裏小路公園整備、まちなみづくり・・・）を伝える空間の形成（案内板の整備）
- 沿道店舗と連携した、にぎわいづくり

時の鐘周辺

- 入口サインの整備・更新
- 時の鐘の周辺整備

みちづくり整備方針の実現に向けた取組

裏小路のみちづくり整備方針の実現に向けた取組として、交通安全対策に関する現場実習会や照明灯具、道路舗装に関する検討内容をご報告します。

取組1：交通安全対策に関する現場実習会を開催！

裏小路みちづくり整備方針内で掲げられている「交通安全対策」の取組として、物理的デバイス（狭さく）を設置した場合のドライバーや歩行者の目線を体験する現場実習会を令和2年11月15日に開催しました。

現場実習会では、交通安全対策としての狭さく等の効果について説明を行い、岩槻図書館から裏小路公園までの道路を利用して実際の効果を体感し、その後アンケートを実施しました。

市では、この結果を基に交通安全対策の方向性について検討を行っていきます。



- 車に取り付けたドラレコを放映
- 狭さくが運転手に与える視覚的効果を体感

- 道路にカラーコーンを設置
- 実際に歩行者の目線で効果を体感
- 参加者全員が狭さく等、物理的デバイスの導入に賛成



○ 現場実習会に参加された方々の意見・感想

- 通行人の安全性が高くなると思う！
- 通行車両のスピードを抑える上で有効！
- 車も人も周りを注意するようになると思う！
- 通行車両のスピード抑制対策を検討してほしい！
- ドライバー目線だとより狭く感じる！
- 景観に配慮したポラードはあるか？